

第2号様式（第3関係）

令和元年度第1回豊山町生涯学習推進審議会 議事録

- 1 開催日時 令和元年8月26日（月）午前10時～午前11時40分
- 2 開催場所 豊山町役場3階 会議室3
- 3 出席者
 - (1) 豊山町生涯学習推進審議会委員
会長：飯田義秀
委員：前田治、安藤幸子、尾野よし子、浅井恵子、渡邊みゆき、服部恒子、坪井敏行、武田州美子
 - (2) 事務局
町長：服部正樹、教育長：北川昌宏、事務局長兼生涯学習課長：安藤憲司、教育専門員：古田弘樹、生涯学習係長：栗山直樹
- 4 議題
 - (1) 平成30年度生涯学習事業報告について
 - (2) 令和元年度生涯学習事業の進捗状況について
 - (3) 豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画（第3期）について
- 5 会議資料
 - ・令和元年度第1回豊山町生涯学習推進審議会会議資料（全9ページ）
 - ・豊山町の生涯学習 平成30年度のまとめ
 - ・生きがいタウン No.49
- 6 議事内容
 - (1) 開会・町長挨拶
 - （局長） 定刻となったので、第1回豊山町生涯学習推進審議会を開始する。最初に町長に挨拶をお願いします。
 - （町長） 委員の皆様には、平素より本町の教育行政についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本審議会の位置付けについて確認する。本審議会は豊山町生涯学習推進審議会条例の第1条にある通り、生涯学習の推進に係る施策を審議し、また、審議した内容を町長に建議することを目的としている。今年度は、第2期の豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画の最終年度であり、来年度からの第3期の基本構想・基本計画という大きな事業がある。今回第3期の豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画の策定について諮問をするので審議の程をお願いしたい。
 - （局長） ここで、町長から会長に諮問書をお渡しする。
 - （町長） ～諮問書を会長に手渡しする～
 - （局長） 町長は他の公務があるので、これにて退席する。
 - （町長） ～退席～
 - （局長） 本町では「議事録等の作成に関する指針」により、審議会等の議事録はホームページに掲載することとなっている。議事録は、要点筆記で作成したものに会長の署名をいただいた後、掲載することになる。後ほど、会長から議事録署名委員が指名されるので、会長と委員で議事録の内容を確認していただく。
 - （局長） 本日の会議は、委員11名中9名の出席であり、過半数に達しているため、

豊山町生涯学習推進審議会条例の規定により会議は成立している。議長については、同条例の規定に基づき、会長に願います。

(会長) 議事録署名委員の指名だが、安藤委員を指名する。議事録の署名には、事務局が本日の議事録を作成後、署名のお願いに伺う。

(2) 議題(1)平成30年度生涯学習事業報告について

(会長) 議題(1)「平成30年度生涯学習事業報告について」事務局より説明を求める。

(専門員) 資料(『豊山町生涯学習 平成30年度のまとめ』9~23ページ)に基づき説明。

(会長) この議題について、何か意見、質問はないか。

(会長) 豊寿大学の講座の内容は毎年変わっていくものなのか。

(専門員) 手元に配付した今年度の「生きがいタウン」の3ページをご覧いただきたい。内容については、講師の先生と相談したり、参加者の意向を聞いたりして検討している。

(教育長) 生涯学習のまとめ11ページにある通り、講座の参加者にアンケートを取ったり、講座終了後にご意見をいただいたりするなど様々な方法で意見を聞いている。

(委員) 生涯学習のまとめ9ページに重点目標が書かれているが、その重点目標に沿った成果と課題をもとに講座に生かしていくことが肝心かと思う。

(会長) 平成30年度の終わりに何らかのまとめをして、今年度に生かしていると思うが、そのあたり総括されたことがあれば教えてほしい。

(教育長) 生涯学習審議会や社会教育審議会などの会を尊重している。町で活躍している方々が審議会場で発言して下さるとありがたい。ここに集まっている委員の皆様は各分野で活躍している方である。審議会場で発言し、我々をたたいてほしい。豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画は豊山町第4次総合計画の下位計画に位置付くため、予算編成の際に、ちゃんとニーズに応じたお金を出しているのかということが議論される。まだまだニーズとずれているところがあるのであれば、我々が柔軟に変えていく必要がある。変えることは悪いことではなく、むしろ、去年とそのままの講座をしていることがむしろ問題であるというくらいの意識でやってほしい。審議会場で意見をいただければ、検討していかなければならない。そんな気持ちで教育長をしている。

(委員) ここは変えた方がよいなど思ったことがあったとしてもなかなか言わない人の方が多いし、発言ができる場も少ない。反省をして次に生かすことは誰も異論はないと思うが、そもそも会議の回数が少ない。少ないということは積み上げていく体制が少ない。その体制のままであるということは、つまりは発言しない方がよいということ。教育長も前任の教育長も「意見を求めたい」と言うが、それとは裏腹にごちゃごちゃ言わずに黙っておった方が賢明である。町長が生涯学習の要点を言った割には直接委員から意見を聞かずに、すぐに退席してしまう。重点目標に基づいて実施した結果、ここはうまくいった、ここは直していこうなどの反省に基づいて行うべきなので、重点目標に基づいて行った結果の成果と課題について行政の側から聞かせていただきたい。それに基づいて、他の委員からも意見が出れば活発な議論になると思う。

(教育長) 生涯学習推進審議会が、今のような意見を聞く場である。何も意見がなく

終わってしまう会になるようであれば、審議会の活性化という観点から考えると反省すべきこと。回数に関してはたくさん会議を開けばよいというものでもない。2～3回開いてその間に大いに議論すればよい。前もって資料を送付して目を通していただくのも一つの方法とうかがった。限られた時間の中で、ご意見をいただければありがたい。大いに議論して、町の生涯学習が推進できるとよいと思っている。

(会長) そのほか、お気づきの点があれば。

(委員) パソコン、iPad 講座を2回ほど受講したが、4回ではその場では分かるが、定着しない。回数を増やしてほしい。

(係長) 受講者アンケートに意見を書いてほしい。例えば応用編を作るとかなど考えたい。

(委員) ふれあいひろば「陶芸」を担当しているが、消耗品に関する予算配分が一律ではおかしい。アンケートをとって実情を調べてほしい。

(係長) 来年度からは指導者に消耗品の必要実態調査（ヒアリング）をして予算配分を検討したい。

(委員) 太鼓クラブの発表する機会を増やしてほしい。

(係長) 町民体育大会の昼休憩の時間に演舞の募集をした。その機会を利用してほしい。

(委員) とよやま de ナイトの予備日の設定はないのか。A コープや商工会、青年部のお祭りなどどんどんなくなっているのが残念。

(教育長) とよやま de ナイトは実行委員会でやっている。ある意味、文化財の保護であるが、手遅れになってはならない。町制50年に向けて、町史編さんを進めている中で、そのような話も聞かせてほしい。

(会長) とよやま de ナイトに予備日がない理由は。

(教育長) 私の知る限りでは、夜店の都合、豊山グラウンドの稼働率が高い、参加者の日程など、いろんな方のやりくりが難しい。なので、本番の案と予備日の案の2つを作っておく必要があるかもしれない。

(会長) 議題(1)「平成30年度生涯学習事業報告について」は、提案通り承認してよろしいか。

(委員) 異議なし。

(会長) 議題(1)「平成30年度生涯学習事業報告について」は、提案通り承認されたことを確認した。

(3) 議題(2) 令和元年度生涯学習事業の進捗状況について

(会長) 議題(2)「令和元年度生涯学習事業の進捗状況について」事務局より説明を求める。

(専門員) 資料(会議資料2～5ページ)に基づき説明。

(会長) この議題について、何か意見、質問はないか。

(会長) ローラさんのやさしい英会話は昨年度までなかった講座か。

(教育長) 新しい講座である。子どもだけではなく大人にもほしいというニーズを反映させたもの。なかなか難しいのは、参加者が多ければよいというものではない。参加者が少なくてもキラリと光る講座もあるので、参加者の数だけではなかなかニーズをはかれない難しさがある。

(会長) アンケートで50歳代の回答がないが。これは偶然か。

(専門員) たまたま50歳代の回答がなかったということ。

(会長) 議題(2)「令和元年度生涯学習事業の進捗状況について」は、提案どおり

承認してよろしいか。

(委員) 異議なし。

(会長) 議題(2)「令和元年度生涯学習事業の進捗状況について」は、承認されたことを確認した。

(4) 議題(3) 豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画(第3期)について

(会長) 議題(3)「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画(第3期)について」事務局より説明を求める。

(専門員) 資料(会議資料6~7ページ)に基づき説明。

(会長) 向こう10年間に関わる重要な議題である。この議題について、何か意見、質問はないか。

(委員) 豊山町の地域の特色は何か。他地域との違いは何か。そのあたりを着目して施策を考えられるのが、豊山町にとってよいことだと考えるが、豊山町の地域の特色は何か。他地域との違いは何か。

(教育長) 一番の特色は愛知県で面積が一番小さい町。全国でも19番目に小さい。6.18平方キロメートル。そのうちの3分の1が名古屋空港。だから人が住んでいるところは4平方キロメートル。そこに15,800人が住んでいる。そこに行政と各種団体が一体となって展開してきた。2つ目の特色として少子化・人口減少という言葉が豊山町には当てはまらない。推計でも16,500人くらいまで人口は増えると言われている。これはうれしいこと。3つ目としては大きな功績を残した「イチロー」の出身地である。町内のどこでもスポーツが活発である。4つ目の大きな特色として航空宇宙産業がある。スペースジェットの開発拠点があり、外国人労働者をはじめたくさんの方がここに集まる。将来に向けて発展をしていく可能性を秘めた町である。

(委員) 生涯学習の究極の姿は教育委員会主導ではないことを目指しているということ。自主的な活動サークルをどのように支援していくか。自分たちがやるというスタンス。将来的には会場費ぐらいを支援するというようなものになっていかないと本当の生涯学習にはならない。学校教育と社会教育を結び付けていかないといけない。例えば、中学校の理科と航空関係という融合を図っていくというようなことも必要である。

(教育長) もともと社会教育という言葉があり、戦後、生涯教育という言葉ができ、今は生涯学習という言葉になっている。生涯学習というのは「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる機会を行政が設定し、それに町民が参加するものだと理解している。豊山町では全ての小学校において、ある学年では全員あいち航空ミュージアムを見学することも行っている。これも町にあるミュージアムと学校教育との連携という位置づけである。

(委員) 基本目標1と2・3・4は並列ではなく、基本目標1だけ2・3・4より上位ではないか。また、目標1の施策3が適正な管理とあるが、立て直すということか。

(教育長) 社会教育センターが30年経過しており、新しい機能を付加して長寿命化を図るとというのが国全体の方針である。この方針にのると国の補助も有利である。社会教育センターも手遅れで建て替えるしかないということになる前に、防災機能やニュースポーツに対応した施設、郷土資料室・図書室の再生ができるのかなどを考えて長寿命化計画を考えよう、ということで社会教育施設の適正な管理という言葉になっている。管理という言葉が適切ではないかもしれない。施設のマネジメントをしていくという意味である。基本目標

の1～4は並列ではない。

(委員) 基本目標1の施策(2)の読書活動の推進があるが、基本目標が並列でない中で、読書活動の推進があることに違和感を覚える。基本目標1の施策(1)～(3)の観点がバラバラである感じがする。もう一つは文化活動について指導者も受講者も高齢化しているのではないか。講座が続いていくことを考えると、新しい人が参加しにくい環境があるなど、各活動でお困りの部分があるのではないか。このままでは活動は先細りしてしまうのではないか。事務局は実態を捉えているか。

(教育長) 実態は捉えている。例えば各種審議会などメンバーをみても、同じような方が名を連ねている。地域で長老と言われている方々である。役場の会議で意見として出たのは、審議会のメンバーについて、例えば任期を設ける、年齢制限を設ける、男女比を検討する、役場の組織も見直しを図る必要があると考えている。役場の組織が若返れば、地域の組織も若返るので、行政としても仕掛ける必要があるという議論もあった。本当は団体の中で後継者の育成を考えなければならない。一部そのような動きとして、子ども会において、中・高・大学生を構成員としたジュニアリーダーという組織が去年できた。しかし、多くの団体においては先駆者として切り拓かれた方が中心となって引っ張っていることは認識している。

(委員) 高齢の方がトップでいるということが悪いというわけではない。持続可能性という観点から心配している。高齢の方が病気等で突然できなくなると活動自体がつぶれてしまうことが心配である。

(教育長) 基本計画の施策のところは見直しをする。

(委員) テーマはよい。社会とつながるといことが生きがいとしていくのは生涯学習の目標としてあると思うので、読書活動の推進はどこかに入れて、社会とつながる施策をいれるとよい。

(教育長) 再考する。

(委員) 陶芸は先生が高齢で困っている。先生は2週間に1回とか3週間に1回顔を出してくれる。宣伝が必要と思い宣伝をしたら、小牧や名古屋から来てくれた。宣伝は大きい。若い方を取り込むのは本当に難しい。若い方は働いているので土曜とか平日夜に開催したいが、それは我々にとって無理である。どうしたらよいのか危機感を感じている。

(教育長) 役場の中で驚いたのは夜7時から開催する会議が多いこと。委員が勤めに出ているから、このような時間になる。昼間会う機会がないのは特色なのか課題なのか。

(委員) 私も70歳を過ぎているので、できれば若い方がどんどん入って意見を言うのがよい。こういう場に参加できて、勉強になっている。

(委員) ふれあいひろばでバウンドテニスをしているが、バウンドテニスも高齢化の問題を抱えている。若い方は夜だと参加される方は増えるが子どもの受験等もあり、長続きしない。もう一つの大きな問題は、アリーナが暑くて仕方がない。空調を検討していただきたい。

(教育長) 社会教育センターの長寿命化計画の中で、防災機能を付加する一環でアリーナの空調を何とかしたい。

(委員) 人を集めることは難しいこと。中学生・高校生をいろんな講座に参加させるのは部活動もあるし難しい。そんな中、僕は以前、50年くらい続くとよいと思って、中高生の和太鼓グループを作った。その中から、現在プロの和太鼓演奏者も出ている。そういう風に作っても、10年経つといろんな考え

が入ってきて、難しい問題が出てくる。10年の計画は長いと感じる。だから短期・中期・長期の生涯学習の計画を持っていないといけない。中学校は部活があって難しい。そこで先ほどの和太鼓グループにはターゲットとして、中学校に進んで来ない子を入れた。そしたらその子たちは生き生きと和太鼓に取り組み、その中の1人がプロになっている。また、その子は学校にも行くようになった。生涯教育は学校とは別のところで体験させるなど、学校と連携しながら行くとよい。人集めに関しては、冊子も有効だが、ネット社会であるから、どのように発信をしていくか。参加に関しても広域行政として近隣の方も参加できるようにしていかなないとなかなか人集めは難しい。

(教育長) 10年スパンの計画のことについてだが、上位計画の豊山町第5次総合計画も10年スパンで計画している。総合計画は5年ごとに前期と後期を作る。その中で、定期的に見直しを図っている。その下に本計画があるので、当然総合計画と併せて毎年見直しをしていく10年にしたい。人集めのことに関しては、学校の先生も大変だし、子どもたちも英語が入ってくるなど忙しい。しかし、こういう機会があるということを保護者にPRすることは大切だ。

(会長) たくさん情報や話題をいただいた。議題(3)「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画(第3期)について」は、提案どおり承認でよろしいか。

(委員) 異議なし。

(会長) 議題(3)「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画(第3期)について」は、提案通り承認されたことを確認した。

(5) 議題(4) その他について・閉会

(会長) 議題(4)「その他」について、事務局から何かあるか。

(事務局) ありません。

(会長) せっかくの機会ですので、委員の皆さん、何かご意見があれば発言していただきたい。

(会長) 議題については、これで終了する。

(局長) これで、第1回豊山町生涯学習推進審議会を終了させていただく。

以上